卒業生の今

～第一線で活躍する卒業生～

Physician Scientist（研究医）として肝線維症の創薬に挑む

EKIHIRO SEKI

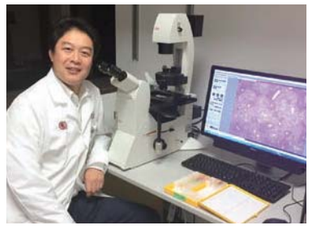
石（せき）　亦宏（えきひろ）さん

- 出身学部　兵庫医科大学　医学部
- 卒業年　平成6年3月卒業
- 勤務先　Cedars-Sinai Medical Center（米・ロサンゼルス）

基礎研究に魅力を感じ渡米 著名大学を経て、LAの学術的医療センター“Cedars-Sinai”へ

医学研究に興味があった石氏は、兵庫医科大学を卒業後、研究活動が盛んであった兵庫医科大学病院の肝・胆・膵外科（当時の第一外科）に入局。いくつかの病院で臨床経験を積みながら基礎医学研究に取り組み、大学院を修了した。その後、2004年にコロンビア大学へポスドクとして渡米。当初2年の留学予定であったが、2007年にカリフォルニア大学サンディエゴ校（以下、UCSD）より誘いを受けて基礎研究に勤しみ、2010年に独立研究室を設立、その後、Associate Professor（准教授）に昇進。2014年、さらに研究活動の場を広げるため、現在のCedars-Sinai Medical Centerへ異動した。

現在勤務するCedars-Sinai Medical Centerは、米・ロサンゼルスのビバリーヒルズに拠点を置く、米国最大級の非営利学術研究センターである。Best Hospitals ランキングでは、消化器内科外科分野は全米6位と評価され、近年は臨床研究のみならず、基礎研究に非常に力を入れている機関だ。消化器関係だけで30～40ほどの新薬開発が行われていることに現れるように、研究環境もより整い、研究範囲も広がった。



Seki Labにて

独立研究室 “Seki Laboratory”を立ち上げ肝硬変・肝線維症の研究に勤しむ

UCSD時代に、NIH（National Institute of Health）からの研究補助を受け、独立研究室（Seki Laboratory）を立ち上げた。Cedars-Sinaiでは、肝臓を専門とする基礎医学の研究室が無かったため、新規研究グループ設立のために異動し、意欲を燃やしている。研究室では、ポスドク研究者5人、医学部生1人、大学院生1人と秘書2人を抱えている。米国における独立研究室では、主研究者（Principal Investigator）は、研究者でありながら、管理者として研究費の資金調達を行わなければならない。人件費等も研究費からすべて捻出するため、資金繰りが研究室のすべてを左右するといっても過言ではない。NIHのみならず日本の製薬企業からも出資を受けて共同研究を行い、論文執筆を行っている。

石氏の研究は、肝硬変・肝線維症および肝癌発症メカニズムを、自然免疫シグナルに着目し、免疫生化学的アプローチによる病態解明と新規治療法を開発することである。肝臓において細胞外結合組織が増加する肝線維症に対する新規治療薬の開発や臨床治験は、欧米や中国などでは非常に注目されているにもかかわらず、日本は少々遅れをとっている。「Cedars-Sinai には肺線維症のエキスパートも在籍しており、線維症における臓器間の共通メカニズムの解明に対する共同研究が、新たに行えるようになりました」と石氏は話す。

アメリカでは、臨床の医師と研究者の職掌が概ね分かれており、基礎研究を行う者は基礎研究に集中することができる。その中で重要な役割を果たすのが、石氏のような臨床目線で基礎研究をすることができるPhysician Scientist（研究医）の存在だ。また、Cedars-Sinaiでは、臨床治験を行う医師とチームを組み、毎週行う会議で相互にアイディアを出し合い、彼らのブレーンとして研究を進めている。

研究のパートナーとして欠かせないのが、UCSDで免疫研究を行う、兵庫医科大学卒業生の林公子先生だ。石氏のUCSD時代に兵庫医科大学肝・胆・膵内科の飯島先生の同期つながりということで知り合いとなり、そこから共同研究を行うようになった。

共同研究者：林公子先生より

私はUCSDで自然免疫に関するメカニズム解明及び薬の開発について研究しています。石先生とは肝硬変等の創薬に関するプロジェクトチームを組み、私は創薬を担当し、臨床につなげる役目は石先生が担っています。月に1回以上UCSDにてプロジェクトミーティングを行いながら研究を進めていますが、以前より若い研究者のお手伝いがしたいと考えていたので、石先生と研究ができることは非常に光栄です。多くの方に、科学はビジネスに繋がるという可能性をもっと知ってほしいですし、今日本にいる医師にもぜひアメリカへ来て勉強してほしいですね。

全力で研究に打ち込みたい人はぜひ海外の研究室も視野に入れてほしい

仕事におけるポリシーは“好きなことに打ち込むこと”。人間、好きなことであればその分野の新たなことに挑戦したり、発見に喜びを感じたりするものだ。医学の世界でも、それまで常識とされていたことが変わることが度々ある。例えば、20年前は肥満による脂肪肝は、肝硬変や肝癌に進展しないとされていたが、現在は、肝硬変や肝癌の主原因になるとされている。「肝線維症や脂肪肝は罹患期間が長いにも関わらず、直接的な治療薬がない。固定概念にとらわれず、時間がかかるかもしれないが、より多くの人に貢献できるような創薬に挑戦したい」。

また、兵庫医科大学の後輩をはじめ、後世のために貢献したい思いがある。隔年に1回、肝・胆・膵外科の藤元主任教授に招聘され、兵庫医科大学で特別講義を行っている石氏。「海外で研究を行いたいと考えている学生に、少しでも役立つ情報を与えることができれば嬉しい」と言う。石氏自身、渡米時に英会話で苦労した経験があるため、英会話は極力留学前に身につけた方がいいとアドバイスする。また、現在住んでいるアメリカの西海岸は四季による気候の変化があまりなく、時間がゆっくりと流れ、1年をとおして全力で研究に打ち込めるという。「興味のある学生にはぜひ留学を勧めたいですね」。

LA日本人研究者の会にて（藤元主任教授（中央）と兵庫医科大学の卒業生4人）

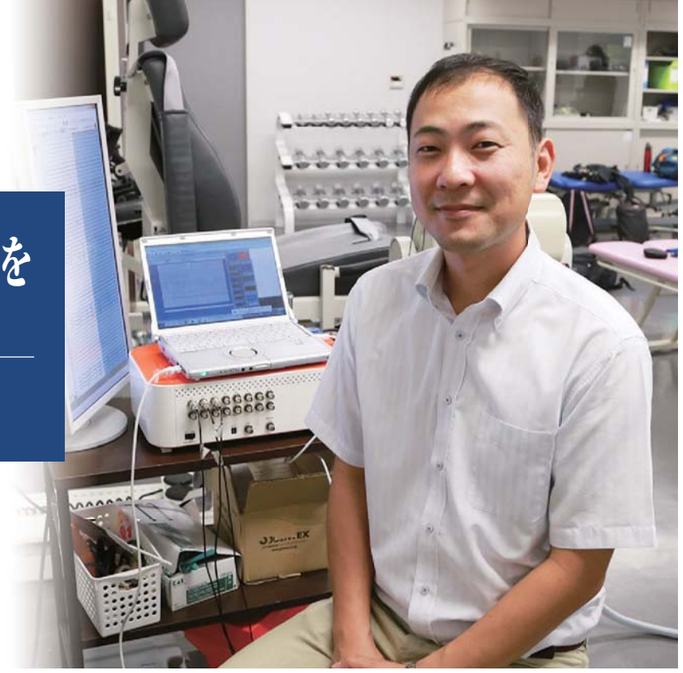
今後の展望は「薬と治療に関係なく、病気や生命の真理の解明に挑むこと」、そして「医療に貢献できるように、新薬の開発につながるような研究をしていくこと」。医師にしかできない基礎研究を突き詰め、さらなるトップジャーナルへの掲載を目指している石氏の熱意は冷めることがない。

兵庫医科大学での特別講義

The Professional
ザ・プロフェッショナル

先を見つめ、人と医療に貢献する研究を
～独自の視点と基準で超高齢社会に挑む～

兵庫医療大学　リハビリテーション学部
理学療法学科　講師　宮本 俊朗



医療の発展には、患者さんを診療する臨床はもちろん、個々の病気や現在の医療・社会の状況をさまざまな角度から見据え、研究することも欠かせない。今回は、異色の経歴によって育まれた独自の視点で研究を続けるプロフェッショナルを取材した。

異色の経歴で培われた視点

宮本講師の経歴は少々珍しい。大阪大学工学部の卒業生なのだ。卒業後、京都大学の医療技術短期大学部で理学療法について学んだ。進路の転換のきっかけは、大学時代に明け暮れたハンドボール部の活動中にケガを繰り返したこと。「手術が必要なケガもしました」。医師や理学療法士と接する中で“人を相手にする”医療の仕事に関心を持った。「工学の分野での対象は物だけど、医療は人が対象。それはまったく違うことでした」と宮本講師は振り返る。「自分が患者として経験したことが、将来進む道を決定づけたのだと思います」。

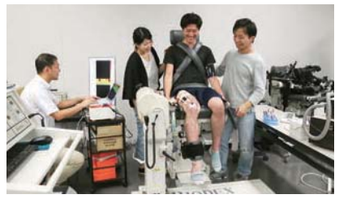
その後、京都大学大学院に進学し、人間・環境学研究科で運動生理学を専攻した。「理学療法の大学院には行かなかったけれど、だからこそ外からの視点で理学療法の分野が見られる。良い経験ができました」と宮本講師。異色の経歴を経てきたからこそ、今自分が身を置く分野の課題など、見えるものは多いだろう。

超高齢社会に運動療法の研究で挑む

現在は多くの授業を担当し、臨床の現場にも出ながら、研究にも力を入れている。「運動には神経を回復させたり認知症を予防したりする効果が見込めますが、どのような運動をどういう条件の下で行えば効果的なのかということを研究しています」。

しかし一方で、運動の効果がはっきりしても、疾患や後遺症などの影響で推奨される運動を行うことができない状況も考えられる。宮本講師は、そのようなケースの理学療法的対策の一つとして、電気刺激によって筋収縮を促し、その効果を検証する研究も行っており、国際的にも高い評価を得ている。

これらの研究では、血液中のバイオマーカーについても解析している。「また、学生たちと一緒に実験を行い、看護学部や共通教育センターの協力を得て採血をしています。理学療法士だけよりも他職種と共同で研究を行う方が、格段に研究の可能性が広がります。理学療法士が血液を解析するというのはイメージにないかもしれませんね」と笑う宮本講師。枠にとらわれない視点は、研究においても発揮されているようだ。



独自の基準を軸に常に先を見据える

患者さんと接する際に心がけていることは「目の前の今を見ながら、同時に先を見ること」だと話す宮本講師。その姿勢は研究にも貫かれている。「研究をするうえでは、今だけでなく20年後、30年後の社会的な状況も視野に入れないといけません」。根底には「国家資格を持つ自分たちの仕事は国に貢献しなければいけない仕事」という考えがある。「生活習慣病や認知症が社会的な問題になっているなら、その患者さんたちの状態を改善していきたい。患者さんはもちろんのこと、国にも貢献したいんです」。

学生時代にアジアの発展途上国を旅した宮本講師。学生たちには、日本とは経済レベルの違う国も含めて若いうちに行ってみてほしいと話す。「さまざまな経験は客観的に見る目を養うし、それは医療に携わるうえでも必ず役立ちます。ボランティアやアルバイトなどにも積極的に取り組んでほしいですね」。異色の経歴を経た自身の経験に基づいた言葉には説得力がある。「今ある基準に当てはめるだけが正解ではない。重要なのは自分自身が培ってきた基準」。その言葉に、医療者、教育者、そして研究者としての信念を感じた。

チームの力

～ミッションは薬剤耐性菌の発生・感染の予防～
兵庫医科大学病院 ICT（感染対策チーム）

兵庫医科大学病院では、医療の向上を図るため9つの医療チームが活動中です。
今回は、その中から1チームをご紹介します。

近年しばしば問題となっている薬剤耐性菌（※）は、適切に抗菌薬を使用しなければ、院内で発生したり、また、既に感染した患者さんから院内の他の患者さんへ広がったりする可能性があります。

※感染症などを治療するための薬が効きにくくなった菌

ICT（Infection Control Team）は、そのような院内の感染を予防するために立ち上げられたプロジェクトチームです。感染管理の専門資格をもつ医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師などの多職種が集まり、毎日各病棟をラウンドし主治医とディスカッションを行うなど、感染対策の活動を行っています。

また、多くの患者さんと接する医療従事者が感染予防の基本となる「手指衛生」をきちんと習得できるよう、毎年「クリーンハンドキャンペーン」を行い、院内の感染対策を徹底して行っています。

ICTのメンバー

今年度も多数の病院職員が「クリーンハンドキャンペーン」に参加

大学のシンボルマークに込められた意味とは？

知ってる？
学校法人兵庫医科大学
学校法人兵庫医科大学の“すごい”や“隠れた魅力”をご紹介します！

兵庫医科大学や兵庫医療大学に関わる方が一度は見たことのある校章（シンボルマーク）。
「いつの間にか見慣れてしまった」という方も多いかもしれませんが、そのデザインに込められた意味をご存じですか？

■ 兵庫医科大学　校章（シンボルマーク）

- 兵庫医科大学の校章は、HYOGO（兵庫）の頭文字である“H”を図案化して作られています。
- 左半分の赤色は“動脈”を、右半分の緑色は“静脈”を表し、中央交互部分は“心臓”を表しています。

■ 兵庫医療大学　校章（シンボルマーク）

- 兵庫医療大学の校章は、3本の縦軸・1本の横軸、UNIVERSITY（大学）の頭文字“U”を図案化して作られています。
- 三本の縦軸は、“建学の精神”また“3学部（薬・看護・リハビリテーション学部）”を表し、横軸は“大学の理念”と“3学部の強い連結”を表しています。
- 赤色は“動脈”と“躍動感にあふれ目標に向かって邁進する大学”を、青色は“静脈”と“キャンパスの真横にある神戸の海”などをイメージしています。

シンボルマークには、その形・色・使用方法を定めた「ビジュアル・アイデンティティー マニュアル」があるって知っていましたか？

篠山キャンパス関連のロゴマークも、
今年度リニューアルして書体が変わりました！

兵庫医科大学 ささやま医療センター

気になる 授業

兵庫医科大学・兵庫医療大学の
魅力たっぷりの授業をご紹介します！

全学部対象「チーム医療演習」

平成28年9月5日から9月9日までの5日間、兵庫医療大学の4年次生（薬学部、看護学部、リハビリテーション学部 計323人）および、兵庫医科大学の3年次生（医学部 116人）が西宮キャンパスに集まり、「チーム医療演習」に取り組みました。

この演習は、医療職種間の相互理解を深めるとともに、現代の医療に求められる「チーム医療」を駆使して患者さんの問題を解決する能力を身につけることを目的に毎年実施しているTBL（※）形式の授業です。学生たちは学部混成の小グループ（6または7人単位）に分かれ、アイスブレイク・GRAT（グループ試験）をとおして徐々にコミュニケーションを取り、その後、与えられた症例に対してグループ討議を行い、結論をまとめて発表しました。初日には初対面同士で緊張する学生の姿も多々見られましたが、時間が経つにつれて関係性が深まり、討議中には活発に意見を交換。医療チームにおける自分の役割や医療従事者同士のコミュニケーションの重要性を理解しながら「チーム医療」について意識を高める良い機会となりました。

※TBL（Team Based Learning）･･･チーム基盤型学習。課題を用いた学習方法で、予習資料に基づき、個人学習、グループ学習、全体学習など様々な形式で学んで理解を深めます。

演習スケジュール

1日目：

○ガイダンス、アイスブレイク
○IRAT（個人試験）、GRAT（グループ試験）、
　試験フィードバック
○討議１回目

少し緊張しながら
アイスブレイク

2日目：

○特別講義①
「リハビリテーションとチーム医療」
兵庫医療大学　川口浩太郎教授
○特別講義②
「地域における患者の生活を支えるための職種間連携」
筑波大学　高屋敷明由美講師
○自習

3日目：

○討議２回目
○自習、発表準備

4日目：

○発表会

他グループの発表に対して積極的に質問!

現役医療職者のカンファレスは別格

5日目：

○症例解説フィードバック
○模擬カンファレンス
○試験、試験解説講義
○全体講評、表彰

参加学生の声（兵庫医科大学）

═ 医学部 ═

・職種間連携について、ぼんやりとしか考えたことがなかったけれど、症例をとおして、患者さんを軸に連携を取らなければいけないと感じました。
・他学部生の知識を教えていただくという姿勢を心がけました。
・座学の授業や本から得た知識だけでは、実際のチーム医療の現場では対応できないと感じました。
・１年次の合同チュートリアルよりも本格的で現実的な内容でした。
・その患者さんに関わる全職種の人に意見を出してもらい、そこで出た意見をきちんと理解し、患者さんにより良い医療を提供したいです。

参加学生の声（兵庫医療大学）

═ 薬学部 ═

・私は薬学部生なので、治療薬の情報を良い点、悪い点ともに他学部生にわかりやすく説明するよう心がけました。
・症例に対し複数の治療法を考えましたが、どの組み合わせがその患者さんにとって最も最適かを決めるのに苦労しました。
・全員が患者さんの状態と治療の目的を理解していなければ、ちぐはぐな対応になると感じました。
・実習を終えている看護・リハビリテーション学部生が特に意見を述べていたため、私も来年学外実習を終えた際にそのように発言できるよう学んでいきたいです。
・症例シナリオを読んだだけで、自分の職種でできそうなこと、やるべきことがすぐに思いついたことに成長を感じました。

═ 看護学部 ═

・グループ内では、意見をまとめるリーダー的役割を担いました。また、自分が知っていることは、専門の内外に関わらず伝えるようにしました。
・もともと面識がないメンバーばかりでしたが、すぐに仲が深まり、意見がたくさん出る良い雰囲気のグループでした。
・看護師の視点で患者さんの身体的、精神的、社会的状態をアセスメントし、今後起こりうる危険性を考え、どのようなケアが必要かを、他学部生と考えました。
・１年次の合同チュートリアルと比べて、それぞれがより多くの専門的知識を持って話し合えたので、症例をより理解することができました。
・患者さんのQOL向上を目指して、看護師だけでなく、医師・薬剤師・理学療法士・作業療法士など各分野のアプローチを知ることができました。

═ リハビリテーション学部 ═

・討議中は、少しでも分からないことがあればすぐに質問をしたり確認をとったりして、各学部の役割や内容をしっかり理解するよう心がけました。
・ディスカッションの際に、会話を自ら切り出すよう意識しました。
・他学部生に聞きたい情報が明確で、学部間の連携が取れていると感じました。１年次生の時より、チーム医療を意識しながら取り組めたと思います。
・その患者さんに対して、より良い治療を行いたいと思う気持ちは共通なんだと実感しました。
・多くの知識・技術を一層身につけ、患者さんを中心に、そのご家族、他職種、地域等と連携し、より良い医療を提供できるようになりたいと感じました。

全学部希望者対象「医療チーム実習」

上記のように「チーム医療演習」で卒前に多職種連携を学んでいますが、実際の現場でのチーム医療が重要です。そこで兵庫医科大学病院と医療人育成センターが協力して、実際の医療チーム活動に学生が参加する「医療チーム実習」を今年度初めて行いました。

対象は兵庫医科大学6年次、兵庫医療大学薬学部6年次、看護学部4年次、リハビリテーション学部4年次の希望者で、病院の「感染対策チーム」「緩和ケアチーム」「褥瘡対策チーム」に加わりました。参加した学生は、チームに同行して病棟ラウンドを経験するなど、医療現場での多職種連携や自分の職種における役割など多岐にわたり学ぶことができました。

各医療チーム	実習日程	参加学生
感染対策チーム	・月曜から金曜：毎日病棟をラウンド ・金曜の午後　：実習のまとめ、発表	薬学部1人、 リハビリテーション学部　作業療法学科1人
緩和ケアチーム	・水曜：オリエンテーション、事前学習 ・木曜：午前- 病棟ラウンド、午後- 実習のまとめ ・金曜：実習のまとめ、発表	リハビリテーション学部　理学療法学科2人、 作業療法学科4人
褥瘡対策チーム	・1日目：オリエンテーション、事前学習 ・2日目：午前- 事前学習、午後- 病棟ラウンド ・3日目：実習のまとめ、発表	薬学部1人、 リハビリテーション学部　理学療法学科3人、 作業療法学科2人

各医療チーム　実習風景

感染対策チーム ■ ＮＩＣＵでの環境ラウンド

環境の説明やラウンド方法の学習

緩和ケアチーム

ラウンド前の情報収集と共有

褥瘡対策チーム ■ 10 階西病棟でのカンファレンス

情報を収集し、病室へ

実習発表

実習のまとめ、ディスカッション

学生の 部活動紹介

初の快挙！ サッカー部が全国大会で優勝！

兵庫医科大学

◆2016年度 全医体結果（サッカー部、柔道部）

全国の医学部の学生が、種目ごとにスポーツの頂点を目指す「第50回 全日本医科学生体育大会王座決定戦」（通称：全医体）で、兵庫医科大学 サッカー部が創部後初めて“優勝”しました。

本学のサッカー部は、毎年夏ごろに開催される西日本のすべての医学部が参加する体育大会「西日本医科学生総合体育大会」（通称：西医体）で、昨年までの10年間、初戦敗退が8度・2回戦敗退が2度と惨敗に終わっていました。しかし、今年の西医体では“準優勝”、そして西医体と東医体（東日本のすべての医学部が参加）の成績上位校のみが出場できる全医体では“優勝”と、見事雪辱を果たす形となりました。

また、柔道部も女子個人の部で熊本友子さん（4年次）が優勝を果たしました。おめでとうございました。

10月15日 野口学長による特別表彰を実施

サッカー部のキャプテン小川哲平さん（3年次生）のコメント

今回、徳島県で開催された全日本医科学生体育大会王座決定戦サッカー部門において、優勝することができました。初戦では東医体優勝校である千葉大に競り勝ち、決勝戦ではPK戦の末、西医体決勝で敗れた高知大に勝利し、リベンジを果たすことができました。今大会で引退する6年次生と有終の美を飾ることができ、また兵庫医大サッカー部として史上最高の成績を残せたのも、応援してくださった皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

平成28年度 第68回 西日本医科学生総合体育大会結果報告（全体成績22位/44校）

クラブ名	種目・部門	順 位	学 生
陸上競技部	女子800m 女子400m	優勝 4位	(3年)新宅　由佳 (3年)新宅　由佳
柔道部	男子団体戦 女子個人戦	ベスト16 優勝 ベスト16	(4年)熊本　友子 (5年)真殿　茉莉
合気道部	個人段外の部	最優秀賞 (1位)	(4年)橋本　雅史 (2年)中野　きらり (2年)北風　匠一
競技スキー部	男子総合 女子総合 女子スーパー大回転 新人戦女子 新人戦女子3ｋｍ 女子回転 新人戦女子3ｋｍ 新人戦女子3ｋｍ 新人戦男子 男子10km	4位 4位 1位 1位 3位 3位 5位 8位 2位 8位	(2年)大城　葵 (2年)大城　葵 (2年)大城　葵 (2年)大城　葵 (4年)清水　美沙 (2年)平山　沙季 (2年)原　将輝 (5年)大崎　祐寿
サッカー部	男子団体戦	準優勝	
バドミントン部	男子ダブルス	準優勝	(4年)岩谷　太史 (4年)西村　裕貴
水泳部	50m自由形 100m自由形	5位 6位	(3年)濱田　芳輔 (3年)濱田　芳輔
卓球部	男子団体戦	7位	
ヨット部	470級 スナイプ級 総合	10位 7位 6位	

クラブ名	種目・部門	順 位
バレーボール部	男子団体戦 女子団体戦	ベスト8 1回戦敗退
硬式庭球部	男子団体戦 女子団体戦	ベスト16 2回戦敗退
準硬式野球部	男子団体戦	2回戦敗退
バスケットボール部	男子団体戦 女子団体戦	1回戦敗退 2回戦敗退
ゴルフ部	男子団体戦 女子団体戦	21位 13位
ラグビー部	男子団体戦	1回戦敗退
軟式テニス部	男子団体戦 女子団体戦	1回戦敗退 1回戦敗退
剣道部	男子団体戦	予選リーグ 敗退

第31回 全日本医科学生 アーチェリー競技大会結果

クラブ名	種目・部門	順 位	学 生
アーチェリー部	男子団体	2位	(5年)籠重 大輔 (4年)久保田 義朗 (3年)香西 英孝
	男子シングル	優勝 30m金賞 男子中距離賞(50m)	(5年)籠重 大輔 (5年)籠重 大輔 (5年)籠重 大輔
	男子三OM Wラウンド	3位	(1年)堀口 翔太
	女子団体	優勝	(5年)小田 はるか (3年)村上 美沙 (2年)白江 倫子
	女子シングル	2位 女子短距離賞(30m) 3位	(5年)小田 はるか (5年)小田 はるか (2年)白江 倫子
	女子三OM Wラウンド	優勝	(1年)篠原 有紀子

陸上競技部

柔道部

部活動報告について

兵庫医療大学

◆直近の主な部活動の成績をお知らせします。

バスケットボール部（女子）
平成28年度全日本薬学生バスケットボール選手権大会 第2位

卓球部 寺地巧真さん（薬3年）
第70回関西薬学生卓球大会
男子シングルス 優勝（2連覇）
第59回全日本薬学生卓球大会
男子シングルス 第3位

バドミントン部
安戸まいかさん（作業療法2年）
第70回関西薬学生
バドミントン大会
女子シングルス 準優勝

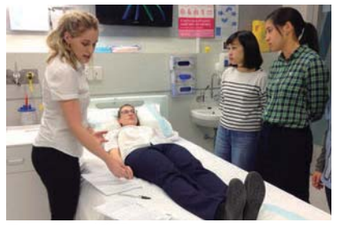
兵庫医療大学 看護学部生がアデレード大学へ留学

平成28年8月13日から9月4日までの約3週間、兵庫医療大学の看護学部生10人（1年次6人、4年次4人）が学術交流協定を結ぶオーストラリアの国立アデレード大学にて、「学術交換留学プログラム」に参加しました。このプログラムは今年で3回目を迎え、今回初めて男子学生が参加しました。

現地では、アデレード大学看護学部で講義や実習を受講したほか、隣接するアデレード大学病院（救命センター）ではクリティカルケアの看護や専門看護について講義を受け、実際に救命センターの現場を見学。また、私立病院のセントアンドリュース病院では、アデレード大学病院のような公立病院との診療内容・施設・保険システムの違いを学び、現地の看護師と意見交換を行うなど海外の医療現場や福祉の状況を学びました。滞在中はホストファミリー宅での生活や、伝統的なダンスであるブッシュダンスパーティーに参加して、オーストラリアの生活や文化にも数多く触れることができました。

救命センターでの見学

看護教育（講義）



スキルスラボ演習

スキルスラボ演習

研修発表

修了証授与式

おめでとうございます　―表彰および受賞紹介―

◆ 法医学講座が海上保安庁から感謝状を贈られました

平成28年7月7日、海上保安庁 第五管区海上保安本部長から、兵庫医科大学 法医学講座に対して感謝状が贈られました。これは、多年にわたり海上保安官を検死実務研修生として受け入れて、法医学に関する専門的な教養の付与と検死技能向上に尽力し、海上保安業務に多大な貢献をした功績が評価されたものです。

なお、全国的にも検死実務研修生を受け入れている大学は少なく、その点も評価されたものと見られます。

◆ 平成27年度 各種学術賞の授与について

● 平成27年度兵庫医科大学研究科教授会学術賞

平成28年7月7日の教授会にて「平成27年度兵庫医科大学研究科教授会学術賞」の表彰が行われ、当年度の学位論文の評価が最も高かった、外科学 肝・胆・膵外科の矢田 章人 病院助手が受賞しました。

受賞論文：Splenectomy attenuates murine liver fibrosis with hypersplenism stimulating hepatic accumulation of Ly-6Clo macrophages
（脾臓摘出術は、Li-6Cloマクロファージの肝内集積を促進し、脾機能亢進症マウスモデルの肝線維化を改善させる）
公表雑誌：Journal of Hepatology（IF　10.401）

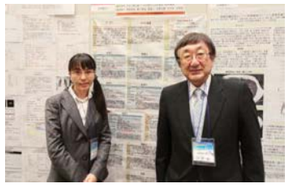
● 平成27年度兵庫医科大学教員学術賞、大学院生学術賞

平成28年9月1日の教授会にて「平成27年度兵庫医科大学教員学術賞」および「平成27年度兵庫医科大学大学院生学術賞」の表彰が行われました。教員学術賞は生物学の菅原 文昭講師が受賞。大学院生学術賞は医科学専攻 循環器病学の澤田 悠先生に授与されました。（現在留学中につき内藤講師が代理で受賞しました。）

兵庫医科大学　優秀アウトカム賞

「優秀アウトカム賞」は、4～5年次における臨床実習の成果として優れたアウトカム評価を獲得した学生に対し、その研鑽を讃えると共に、本学学生の学修意欲の向上に寄与することを目的として贈られるものです。今年度は4人が対象となり、平成28年7月14日、6年次生全員の前で野口学長より表彰されました。

◆ 日本臨床免疫学会第44回総会 ポスター賞を受賞



平成28年9月8日から10日にかけて、京王プラザホテルにおいて行われた第44回日本臨床免疫学会総会において、兵庫医科大学病院 リウマチ・膠原病科の荻田 千愛 病院助手が「日本臨床免疫学会第44回総会 ポスター賞（症例報告部門）」を受賞しました。2年連続の受賞という快挙です。

受賞演題：当科で家族性地中海熱と診断された7例の症例検討

◆ ささやま医療センター 池田 義和 副院長が産科医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞

ささやま医療センターの池田 義和 副院長が平成28年度産科医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞し、平成28年9月9日、東京の中央合同庁舎で開催された表彰式にて厚生労働大臣から賞状や記念品を授与されました。この賞は、厚生労働大臣が、都道府県知事によって推薦された、長年にわたって地域の産科医療の推進に貢献してきた個人や医療機関等の功績を称えるものです。

受賞した池田副院長より

私は、平成7年4月から旧国立篠山病院の産婦人科医長として着任して以来、今日に至るまで、篠山地域において産科医療に取り組むとともに地域総合医療学や家庭医学を軸とした教育・診療を実践してきました。これらの活動をこのような形で評価していただき大変光栄です。

受賞は、産科婦人科学教室のご支援と、医療スタッフのご協力だけでなく、兵庫医科大学及び篠山市の皆様のご支援の賜物と深く感謝しており、今後とも、本学と共同して地域医療に貢献していく所存であります。

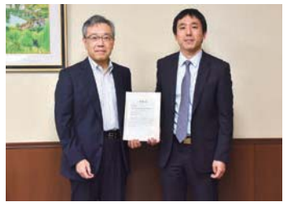
◆ 多施設共同特定臨床研究の支援を開始

兵庫医科大学は、所属する教職員が研究代表者として実施する「多施設共同特定臨床研究」を促進することを目的に、今年度より支援制度を設けました。今年度は多数申請のあった研究の中から、学長賞に1人、CCRED賞に3人が輝きました。

【学長賞】
特定臨床研究として本学の模範となり、かつ本学の発展に今後も期待できる研究

支援額：200万円

受賞者：
輸血・細胞治療学　准教授 山原 研一



（左から）野口学長、山原准教授

【CCRED賞】
特定臨床研究として本学の発展に今後も期待できる研究

支援額：100万円

受賞者：
外科学 上部消化管外科　准教授 菊池 正二郎
外科学 肝・胆・膵外科　主任教授 藤元 治朗
眼科学　講師 石川 裕人

（左から）菊池准教授、西口臨床研究支援センター長、野口学長、藤元主任教授、石川講師

※CCREDとは、臨床研究支援センター（Center for Clinical Research and Education）の略称です。

理事・評議員の異動

次の通り、理事・評議員の異動がありました。

理事		
選任（平成28年7月29日付就任）	兵庫県医師会長	空地　顕一
選任（平成28年8月1日付就任）	済生会神奈川県支部 支部長・常務理事	正木　義博
人事異動に伴う辞任（平成28年7月28日）	兵庫県医師会長	川島　龍一

平成28年度 二大学連携共同研究支援助成事業の採択状況

兵庫医科大学および兵庫医療大学の研究者の連携を通じて法人内でより高度な研究を促進していくために、昨年度から二大学連携共同研究支援助成事業を実施しています。2回目にあたる今年度の採択事業は下記のとおりです。

研究課題名	研究代表者	研究分担者
機能性消化管疾患における内臓知覚過敏発症メカニズムに関する検討	兵庫医科大学　内科学（消化管科） 主任教授　三輪 洋人	兵庫医療大学 薬学部医療薬学科 教授 戴 毅 兵庫医科大学 内科学（消化管科）非常勤講師 近藤 隆 兵庫医科大学 内科学（消化管科）准教授 大島 忠之 兵庫医療大学 薬学部医療薬学科 助教 王 勝蘭 兵庫医療大学 薬学部医療薬学科 助手 小暮 洋子
羊膜由来間葉系幹細胞の再生医療等製品化に向けた創薬共同研究	兵庫医科大学　輸血・細胞治療学 准教授　山原 研一	兵庫医療大学 薬学部 講師 大野 雅子 兵庫医療大学 薬学部 講師 藤野 秀樹

財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

（単位：千円）

助成団体名	研究課題名	研究者	交付額
日本理学療法士学会 （平成28年度理学療法にかかわる研究助成）	包括的運動支援システムの構築による新たな介護予防プログラムの開発	兵庫医療大学　リハビリテーション学部 理学療法学科 講師 永井 宏達	760
日本私立看護系協会 （平成28年度若手研究者研究助成）	女性看護師の冷えと就労環境・生活環境との関連について	兵庫医療大学　看護学部 講師 鈴木 みゆき	300
日本私立看護系協会 （平成28年度若手研究者研究助成）	慢性疾患患者・児がいる家族を支援する看護師の家族コンコーダンス形成力の概念構築	兵庫医療大学　看護学部 助教 髙谷 知史	300
日本私立看護系協会 （平成28年度国際学会発表助成）	Effects of education about the detection of early signs of child abuse on after-school child-care workers	兵庫医療大学　看護学部 教授 鈴井 江三子	200
（一社）大阪薬業クラブ	HIV感染症患者を対象とした院外処方についてのアンケート調査	兵庫医科大学病院　薬剤部 日笠 真一	400
（一社）日本補体学会	老化自然免疫および老化獲得免疫による肝臓の癌化細胞の見逃し機構の解明と老化免疫担当細胞が発現するC5a受容体を介した癌化細胞監視機構の強化法の開発	兵庫医科大学　病理学 病理診断部門 助教 西浦 弘志	2,000

皆様からのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

学校法人兵庫医科大学基金 兵医・萌えの会

H21.7.1～H28.9.30

区　分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合　計	
	件　数	金　額	件　数	金　額	件　数	金　額
申　込	311	66,255,000円	1,423	104,955,498円	1,734	171,210,498円
入　金	311	66,255,000円	1,421	104,325,498円	1,732	170,580,498円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧（50音順）　H28.7.1～H28.9.30

〔緑樹会・後援会・その他個人〕（64名）

●ご芳名・金額記載　15名

飯田 美奈子 様　50,000 円
大西 誠 様　50,000 円
勝木 キミ子 様　5,000 円
勝木 義人 様　5,000 円
金城 泰二 様　50,000 円
川田 公紀 様　500,000 円
河本 里奈 様　600,000 円
北氏 悦子 様　50,000 円
工藤 妙子 様　10,000 円
中岡 薫 様　10,000 円
中岡 幸子 様　50,000 円
藤林 和徳 様　50,000 円
皆吉 晃弘 様　50,000 円
柳 安奈 様　10,000 円
柳 孝代 様　50,000 円

●ご芳名のみ　25名

石田 園治 様
石田 二三子 様
梅本 克己 様
梅本 当志江 様
大原 庸平 様
岡田 陽子 様
川上 昇 様
日下部 昇 様
小松 健男 様
小紫 格 様
佐治 隆一 様
玉木 明美 様
玉木 桜子 様
玉木 真澄 様
土屋 公男 様
土屋 千草 様
寺島 実枝子 様
戸田 喜美 様
中村 知子 様
橋本 克己 様
橋本 千恵子 様
藤澤 雅信 様
古川 孝行 様
古川 真佐子 様
皆吉 真智子 様

（匿名 24名）

〔企業等法人〕（5法人）

●ご芳名・金額記載　2法人

株式会社エイチ・アイ 様　500,000 円
有限会社エイチ・アイ・サービス 様　100,000 円

●ご芳名のみ　3法人

鹿島建物総合管理株式会社関西支社 様
株式会社ポラリス 様
ヤンマーエネルギーシステム株式会社 様

〔役員・教職員等〕（2名）

●ご芳名のみ　2名

鈴木 敬一郎 様
森田 泰夫 様

兵庫医科大学新教育研究棟建設事業募金
～開学40周年記念事業募金～

H24.7.1～H28.9.30

区　分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合　計	
	件　数	金　額	件　数	金　額	件　数	金　額
申　込	198	1,160,815,000円	544	309,789,358円	742	1,470,604,358円
入　金	198	1,149,855,000円	542	308,452,058円	740	1,458,307,058円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧（50音順）　H28.7.1～H28.9.30

〔緑樹会・後援会・その他個人〕（4名）

●ご芳名・金額記載　1名

兵庫医科大学後援会 様　30,000,000 円

●ご芳名のみ　1名

北川 学 様

（匿名 2名）

〔企業等法人〕（2法人）

●ご芳名・金額記載　1法人

株式会社エイチ・アイ 様　110,000,000 円

（匿名 1法人）

〔役員・教職員等〕（3名）

●ご芳名・金額記載　1名

藤谷 昌司 様　250,000 円

●ご芳名のみ　2名

高橋 敬子 様
津田 雅代 様

11月

1日	兵庫医科大学	火災避難訓練
2日	兵庫医科大学	平成28年度男女共同参画推進特別講演会
5日	兵庫医療大学	学術講演会「ノーベル賞とわたしたち ～発表の舞台裏そして科学と社会～」
12日	兵庫医療大学	推薦入学試験（専願公募制、公募制S日程）
13日	兵庫医科大学	推薦入学試験（一般公募制、地域指定制）
14日	兵庫医療大学	仕事研究セミナー
18日	ささやま医療センター	第5回クリニカルパス大会
19日	兵庫医療大学	推薦入学試験（公募制A日程）
19日	兵庫医科大学病院	平成28年度第1回阪神南圏域リハビリテーション研修会
19日	学校法人兵庫医科大学	ママさんパパさん交流会
19・20日	兵庫医科大学	大学祭
20日	兵庫医科大学	ホームカミングデイ
25日	ささやま医療センター	JR篠山口駅列車事故お客様救済訓練
未定	兵庫医科大学病院	第4回阪神南圏域多職種連携フォーラム
未定	兵庫医科大学病院	ボランティア連絡会

12月

1・2日	兵庫医科大学	共用試験医学系CBT 本試験（4年次）
4日	兵庫医療大学	薬学部4年次生対象薬学共用試験（OSCE）
5日	兵庫医科大学	実験動物慰霊祭
10日	兵庫医療大学	推薦入学試験（公募制B日程）
11日	兵庫医科大学	兵庫医科大学シンポジウム「食べられる口をCREATE」
11日	兵庫医療大学	入試対策講座＆大学見学会
13日	ささやま医療センター	クリスマスコンサート
15日	兵庫医療大学	薬学部4年次生対象薬学共用試験（CBT）
17日	兵庫医科大学病院	クリスマスコンサート（アマデウス）
17日	兵庫医科大学	共用試験医学系OSCE 本試験（4年次）

1月

18日	兵庫医科大学	第1回兵庫医科大学医学会学術講演会
21日	学校法人兵庫医科大学	気管・口腔吸引講習会
23日	兵庫医科大学	レクチャーシップ「知の創造」
25日	兵庫医科大学	一般入学試験＜第1次試験＞
28日	兵庫医療大学	大学院入学試験Ⅱ期（薬学研究科・看護学研究科）
未定	兵庫医療大学	社会人スキルガイダンス～接遇マナー～（リハビリテーション学部3年次生対象）
未定	ささやま医療センター	ささやま老人保健施設利用者新年会

兵庫医科大学 新教育研究棟（仮称） 建設工事の進捗状況

平成28年3月に着工した兵庫医科大学 新教育研究棟（仮称）の建設工事進捗状況についてお知らせします。4月に杭工事を終え、7月から9月にかけて基礎工事を行い、10月中旬現在、1階の鉄骨が組みあがった状態です。平成29年秋の竣工を目指して、順調に工事が進んでいます。

最新の進捗状況は、兵庫医科大学ホームページをご覧ください。

大学ホームページでは、360°カメラで撮影した"臨場感あふれる動画"を掲載中!
http://www.hyo-med.ac.jp/guide/edu-building/progress.html

5月18日　掘削工事

6月24日　タワークレーン組立

7月20日　1工区基礎梁コンクリート打設

8月20日　5工区基礎梁配筋

10月5日　10号館屋上より撮影

The Parkhouse
ザ・パークハウス 宝塚

宝塚河畔の開放感あふれる立地に、南向き中心・総164邸誕生。
「ザ・パークハウス 宝塚」モデルルーム公開中

■物件全体概要●名称／ザ・パークハウス 宝塚●所在地（地番）／兵庫県宝塚市栄町三丁目61番1の一部●交通／阪急宝塚線・今津線「宝塚」駅（駅舎）より徒歩6分、JR宝塚線「宝塚」駅（駅舎）より徒歩7分●総戸数／164戸※他に管理室●敷地面積／3,082.83㎡（売買対象面積）●建築面積／1,334.53㎡●延床面積／14,307.14㎡●構造・規模／鉄筋コンクリート造・地上15階・地下1階建●用途地域／商業地域●建築確認済証番号／第BVJ-S15-10-0385号（平成28年2月25日）●駐車施設／総戸数に対して88台［月額使用料:9,500円～19,000円］※他に来客用1台●自転車置場／総戸数に対して328台［月額使用料:100円～500円］●バイク置場／総戸数に対して4台［月額使用料:1,500円］●ミニバイク置場／総戸数に対して12台［月額使用料:1,000円］●その他費用（月額）／インターネット利用料:1,485円●分譲後の敷地の権利形態／専有面積割合による所有権の共有●管理形態／管理組合成立後、三菱地所コミュニティ株式会社に管理委託●建物完成／平成30年1月中旬予定●お引渡し／平成30年3月中旬予定●売主・販売提携（代理）／三菱地所レジデンス株式会社 関西支店 〒530-6015 大阪市北区天満橋一丁目 8番30号 OAPタワー15階〈国土交通大臣免許（14）第408号、（一社）不動産協会会員、（公社）首都圏不動産公正取引協議会加盟〉●売主／三菱倉庫株式会社 神戸支店 〒650-8691 神戸市中央区東川崎町一丁目7番4号 ハーバーランドダイヤニッセイビル〈国土交通大臣免許（14）第591号、（一社）不動産協会会員、（公社）首都圏不動産公正取引協議会加盟〉●販売提携（代理・復代理）／有限会社プレイス・ワン 〒531-0072大阪市北区豊崎五丁目2番18号〈大阪府知事免許（3）第49547号、（一社）大阪府宅地建物取引業協会会員、（公社）近畿地区不動産公正取引協議会加盟〉●設計・監理／日建ハウジングシステム・フジタ設計共同体●施工／株式会社フジタ 大阪支店■第1期販売概要●販売戸数／31戸●間取り／2LDK～4LDK●専有面積／60.47㎡～90.11㎡●バルコニー面積／9.65㎡～31.89㎡●販売価格（税込）／3,498万円～6,568万円●最多価格帯（税込）／4,800万円台（5戸）●管理費（月額）／8,350円～12,440円●修繕積立金（月額）／4,840円～7,210円●修繕積立基金（引渡時一括払い）／483,760円～720,880円●管理準備金（引渡時一括払い）／8,350円～12,440円●広告有効期限／平成28年11月30日※記載の概要は平成28年10月11日現在のものです。分譲中のため、販売戸数等に変更が生じる場合があります。最新の概要はホームページにてご確認ください。

現地案内図

「ザ・パークハウス 宝塚」レジデンスギャラリー
0120-320-025 営業時間／10:00～18:00 定休日／水・木曜日（祝日を除く）

売主・販売提携（代理） 三菱地所レジデンス　売主 三菱倉庫
ザ・パークハウス 宝塚 検索
www.mecsumai.com/tph-takarazuka/

The Parkhouse
ザ・パークハウス 神戸元町

〈第1期〉モデルルーム公開中　ザ・パークハウス 神戸元町 検索

JR神戸線「元町」駅徒歩6分　地下鉄西神・山手線「県庁前」駅徒歩3分　JR・阪急・阪神・地下鉄 5線利用可

■物件概要●名称／ザ・パークハウス神戸元町●所在地（地番）／兵庫県神戸市中央区花隈町7番1●交通／JR神戸線「元町」駅（西口）徒歩6分、神戸市営地下鉄西神・山手線「県庁前」駅（西出口4）徒歩3分、阪急神戸高速線「花隈」駅（東口）徒歩4分、阪神本線「元町」駅（西改札口）徒歩7分、神戸市営地下鉄海岸線「みなと元町」駅（出口2）徒歩6分●総戸数／78戸●敷地面積／1,307.96㎡（売買対象面積）●建築面積／653.72㎡●延床面積／5,944.96㎡●構造・規模／鉄筋コンクリート造・地上14階、地下1階建●お引渡し／平成30年2月下旬予定■第1期先着順販売住戸概要●販売戸数／9戸●間取り／2LDK・3LDK●専有面積／56.37㎡～73.47㎡●バルコニー面積／10.73㎡～13.01㎡●販売価格／3,198万円～5,998万円●管理費／11,170円～14,550円（月額）●修繕積立金／5,080円～6,620円（月額）●修繕積立基金／507,330円～661,230円（引渡時一括払）●管理準備金／11,170円～14,550円（引渡時一括払）●広告表示有効期限／平成28年11月30日●概要作成日／記載の概要は、平成28年9月20日現在のものです。■販売スケジュール／先着順申込受付中※お申込の際は、ご印鑑（認印）、申込金10万円、平成26年・27年分の収入を証明できる書類、本人確認書類（パスポート、運転免許証、健康保険証等）をご持参ください。※先着順のためご希望の住戸が販売済の際はご容赦ください。

お問い合わせは、「ザ・パークハウス 神戸元町」レジデンスギャラリー
0120-033-320
営業時間/10:00～18:00定休日/水・木曜日（祝日を除く）
［売主］ 三菱地所レジデンス

(学)兵庫医科大学　事業法人
（株）エイチ・アイ

大学・病院の事業拡大や
学生・教職員の福利厚生の充実を、
全力でサポートする会社です。

○学生クラブ用品割引販売
●リクルートスーツ販売提携割引
○卒業式用衣装（振袖・袴・謝恩会ドレス・男子用紋付袴等）や成人式衣装のレンタル
●レンタカー提携割引
○自動車教習所紹介
●引越業者紹介
○マンション斡旋
●賃貸住宅斡旋
○下宿斡旋

紹介・斡旋販売

各種業務受託

学内食堂・喫茶・売店・書店営業・飲料、その他自動販売機の管理・運営も受託しております。

兵庫医科大学 1号館6F
TEL. 0798-45-6656　FAX. 6676
http://hi-hyogo.com/hi.html

(学)兵庫医科大学　事業法人
(有)エイチ・アイ・サービス
保険代理店

大学・病院の教職員、及び学生の皆様の各種保険の取扱いを通じて皆様のお役に立つ事業展開を目指しております。

取扱項目：勤務医師賠償責任保険、自動車保険、火災保険、傷害保険、生命保険「何でも相談」等々…
お気軽にお問い合わせください。

ビジネスでもプライベートでも
海外旅行をご予定の方へ
海外旅行保険も
㈲エイチ・アイ・サービスで
加入できます！！
QRコードを読み取ってください →

兵庫医科大学 1号館6F
TEL. 0798-45-6673　FAX. 6676
http://hi-hyogo.com/his.html